

じゃりみち

…仮設支援情報…



第24号 発行日 1996. 8.22

阪神・淡路大震災

「仮設」支援NGO連絡会

〒653 神戸市長田区御蔵通5-5

TEL: 078-578-6921 / FAX: 078-578-6923

E-mail: ngoteam@mb.osaka.inetweb.or.jp

□座番号: 01180-6-68556 (郵便振替)

決闘寺子屋のお知らせ

今回の寺子屋は、今田 忠さん(阪神・淡路コミュニティ基金代表)にお話をさせていただきます。内容は、助成金を出す側としての悩みや気持ちをお話ししてもらおう予定です。(できたら助成金申請のノウハウなども教えてほしいな・・・♡)

8月28日(水) 18:30~20:30 阪神・淡路コミュニティ基金事務局隣の会議室

阪神・淡路コミュニティ基金事務局(元町)

前回全体会報告

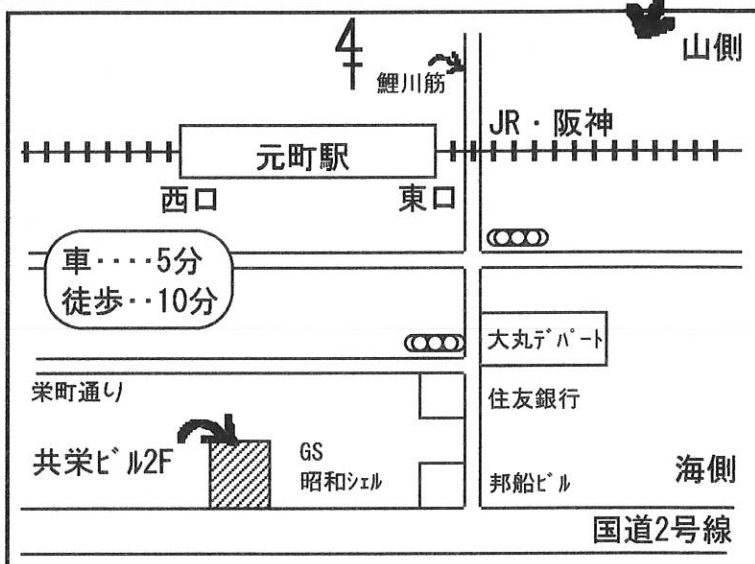
2年目の夏を迎え、様々な夏対策が必要となっている。

夏の脱水症状を防ぐことを目的として、昨年、ちびくろ救援ぐるうぷが行ったポカリスウェット大作戦を、前回のじゃりみち(第23号)でお知らせした4団体(プロジェクト結ふ/ちびくろ救援ぐるうぷ/SVA/阪神高齢者・障害者支援ネットワーク)で呼びかけた。その背景に、「仮設」NGOとして取り組むためには、会則により1ヶ月に1回ある全体会で決議をとらねばならず、「仮設」NGOとして行うには時期が間に合わない判断をしたというものがあつたからである。しかし、中国南部洪水の緊急救援活動など、緊急に対応をしなければならぬときに、全体会での承認を得るまでは何も出来ないという状況は、現実としては事業がまわらない。

今回その様なこと打開するには?という議題が事務局から全体会に提出された。

参加団体の議論の結果、「事務局に一任する」、「必ず全体会に報告する」、「事務局の独断と判断された時には、次の全体会で議論し直す」ということで、全員挙手によって可決された。それに関連し、ポカリスウェット大作戦を「仮設」NGOとして取り組むことも全体会で承認された。今までの4団体の問い合わせ先は「プロジェクト結ふ」になっていたが、混乱を防ぐためにも、引き続き「プロジェクト結ふ」

(TEL:0798-64-5829)に問い合わせをしていただくこと、各団体でも資金提供の呼びかけをするということを含めて確認された。



〒650神戸市中央区海岸通2-1-2 共栄ビル2F

TEL 078-333-4335 ※駐車場はありません!

中国南部洪水 中間報告

1996年6月末からの大雨によって中国南部で発生した大洪水。貴州、安徽など計6省に多大な被害をもたらしています。そこで、仮設NGOも、神戸華僑総会の中国祖国支援を全面バックアップする形で義援金の募集をよびかけました。

1996年8月13日現在の義援金の総額は、

1,564,302円(141口)です。

まだまだ、義援金を募集しています。

みなさんからのあたたかいご支援を
よろしくお願いいたします。

じゃりの一口めも



1. 夏のハーブ: ミント

ミントの精油は、冷却作用で過剰な熱を取り去る一方、強壮作用で元氣をつけてくれるので、夏に最適のオイルです。

お風呂・足浴に: 1~3滴 (皮膚に刺激があるので控えめに)

おひばり・冷水摩擦に: 洗面器の水に1滴。これでタオルを絞ります。

冷湿布に: 1カップの水に1滴。ティッシュやコットンを浸してあてます。

胃痛・腹痛に: ティッシュに1滴たらして、当てます。

…… 仮設支援情報 ……

< 仮設は今... >

垂水区編

垂水区、新多聞仮設、620軒。人々が暮らしはじめて1年3ヶ月以上がすぎ、暮らしの匂いがするようになりました。花壇作り、野菜作りの好きな方たちは、狭い土地でも工夫して丹精こめて花を咲かせ、実をたわわにみのらせています。今後の不安を心のかたすみを持ちながらも、新しい居場所での生活作りのエネルギーを感じてきました。

私たちは、毎水曜日10時～12時、ふれあいセンターで喫茶を開いています。いつもの顔が“おはよう”と元気に入ってこれると何か安心……。でも最近、体調や心のバランスを崩されている方が多くなったような気がします。入退院の繰り返しや通院も減ることなく続いています。住宅募集がはじまり、今後の不安にせまられたりで、元気なようでもどこが無理がたたっているのかもしれない。

あるご夫婦、扇風機や電話機がとひかう激しいケンカが絶えないのですが、ある時、おばちゃん
がポツリと言。「長田にいるときは一回もケンカしたことがなかった・・・」と。

新しい人間関係を作っていくてもやはり元いたところに戻りたいのが本心。永住の地が定まるまで心のケアは必要なのだと痛感します。

震災後１年半もすぎ、高速道路が全面開通すると、震災は終わったような気分の人々も、垂水区のように被害の少なかった地域には増えるでしょう。私たちも何とか“喫茶”は運営していますが、個別訪問などはマンパワー不足で、出来ていません。

新多聞は、今後仮設の統廃合がおこった時、最後まで残るだろうといわれています。少しずつでも支援の輪を広げること今後の私達の課題になりそうです。

[illegible]

イベント情報

アジアの子どもたちとの交流会

8/28 (水)

アジアの子どもたちの卓球選手権大会が開かれるのですが、その彼らと一緒に話しをしませんか？

問い合わせ：神戸アジアタウン推進協議会

078-737-5544 (池田)

●週末ボランティア

8/31 西区伊川谷再訪問「伊川谷駅13:00集合」

東條 建司 TEL/FAX 078-795-6499

(携帶) 080-121-9709

こころ、あったかコンサート(弦楽オーケストラ)

9/3 (火) 18:00会場 神戸文化ホール/大ホール

問い合わせ：生活協同組合 都市生活 本部センター
078-904-3260（すみだ） 仮設住宅の方は無料招待！

なつまつり

8/25 (日) 16:00~

兵庫カトリック教会にて

問い合わせ：PROJECT 1-2 (ワン・ツー)

078-576-7495 (有光)



先回のかせつ寺子屋で、村井さんのハビタット（国連人間居住会議）の報告がありましたが、なんと1行で終わってしまったことに気づき、また以前20号に「くわし〜くはもつすぐ帰って来る村井くんに乞うご期待！」なんて書いていたことにも気づき、あわててまとめたのですが…今回は情報量が多く載せることができませんでした。次号には載せます。乞う乞うご期待!!

また、結構難しい内容ですので、絵入りで分かりやすく資料をまとめてみました。ご希望の方は事務局山田まで♡

事務局より

テレホンカードがぼちぼちと集まって来ました。でも、まだまだ電話代として欲しいんです。おねがいします♡ また、ポカリスエット大作戦のためのカンパも引き続き募集しています。

いつもぼわぼわ～としながらやさしい量の仕事をこなす「プロジェクト結ぶ」の石井布紀子さん。私たち連絡会の全国キャラバンをコーディネートして下さっています。そんな布紀ちゃんからです。

ふきちゃんのキャラバン日記 その0 (せり)。

昨年12月にはじまった全国キャラバン。もうすぐ100回を迎えます。瓦礫や写真パネルの展示、フリーマーケットなどによる支援金呼びかけ、講演会やシンポジウムなど形式は多彩。また、参加人数も、ごく少数の集まりから、行政主催の福祉まつりなどでの数万人参加の企画までさまざまな規模がありました。主催者の方々からの自発的な提案を受け、話し合いながら最終決定に至るよう努力しています。キャラバンのチラシにある「欲しいのは情報…つなぐのは人」というキャッチコピーは、そういった積み重ねの中で生まれてきたのですが、人々がキャラバンに求めるものは何なのでしょうか…? 「情報? お金? もの?」と、やればやるほど、疑問が浮かんできます。



私が事務局をお引き受けすることになった理由は、キャラバン開始以前から、震災支援報告者として全国各地に出掛けていた実績なのだと思います。緊急救援当初からの個人的つながりがきっかけで、お話に出掛ける機会が生まれ「また来て下さい」と打診して下さる方が増えて、いつの間にかキャラバンの企画としてお招き頂く回数も重なっています。そのうえで、他の方がお招き頂く機会も含めた事務局の仕事もお引き受けするようになりました。それでもある日、被災地内の友人から、「あちこち行けていいわね。あなただけ知り合いが増えてズルイ」と、冗談で言われ、私は返事に困ってしまいました。「うーん。棚ボタ的にふってきたラッキーと思われるのかな? キャラバン立ち上げ当初の受入れ先を探す苦労をはじめ、積み重ねの結果なんだけどな。あちこち行けるいい話だけのようには思えるのかなあ?」

…とはいえ、近頃では、「全国キャラバンの企画を立ててみたいんですけど…」 「〇〇さんに来て頂きたいんですけど」など、全国あちこちからののお電話も増え、対応にも慣れはじめました。「イベントは始めてですけど大丈夫ですか?」と言う方に、「ええ。いろんな方法がありますよ」と笑って提示もできます。「何をどんな風にやってみたいのですか?」という質問に対する答えを、主催希望者ご本人がお決めになるお手伝いをさせて頂くのが、事務局の主な仕事です。

そんなこんなで続いてきた全国キャラバンですが、「もうすぐ100回」を目前にして、「もうちょっと、具体的にどんな内容の催しにどんな人が参加して、どんな話し合いがあったのかを知りたい」とお考えになる方がいらつしやるのではないかと思います。これまでもこの『じゃりみち』の中で、体験報告や受入れ報告を掲載して参りましたが、今後、もっと様々な立場の方からのご意見・ご感想がご紹介できるようになれば、読者の方にとっても心待ちのページに近づいていくことでしょう。「全国の人々からの被災地・震災に関する興味は、どんどん薄れているんでしょう?」「今後、どんな風に被災地内外の情報交換をしたらいいのか、その辺りについて一緒に考えたい」など、声に対する誠意ある応えになるよう、これから少しずつでも記録の充実を心掛けたいと思っています。

ひとまずは、キャラバン日記として、私の記憶をたどりながらの個人情報だけでも定期的に掲載させて頂くつもりです。感想のご紹介や企画実現までのプロセスなど、思いつくまで書き綴ってお届け致しますので、どうぞ、これまで以上に報告や感想の方もお寄せ下さいますようお願い申し上げます!

がしきは走る

(全国キャラバン日程表)



8/28	福井県	福井市	県中学サミット 講演会	(石井)
8/30~9/1	愛知県	名古屋市	ガラスデイズ会場 がしきパルシッポ	(村井・石井・澤田・和布・りゅうた・ひかる・他)
9/6	広島県	広島市	講演会	(石井)
9/7	広島県	広島市	シホジウム	(石井)
9/16	広島県	広島市	講演会	(石井)
9/23	大阪府	大阪市	がしきパルシッポ 販売	
9/29	東京都	新宿区	講演会	(石井)

ふきちゃんのキャラバン日記 その1 ~96年夏の記憶から~

 『伝えるって難しい、でもやめられない』  

8月9日から3日間、私は神奈川県南足柄郡にある“まるたの森”を借り切って行われた『子どもいのちとくらしのまつり』に参加した。全参加者は子どもから大人まで1,000名近く、「それぞれが自発的・積極的かつ自由にのびのびと。みんなで心地よい生き方を探そう」というコンセプトのもとで共同生活を行った。被災地から参加した45名の中には、全国キャラバンの一環として、瓦礫の運搬を手伝ってくれた鈴木隆太さん・仲江川徹さんや、催しの中でのアピールに招かれていた村井雅清さんも混じっており、仮設住宅や震災以来県外で暮らすようになった子どもたちも20数名いた。キャラバン以外のメンバーと合流して、県外で行われるイベントに参加する形は今回はじめてだったと思う。

夕暮れには涼しくなる緑いっぱいの森では、入れ代わりたちかわり様々な人が出入りを続け、ワイワイガヤガヤ子どもたちの声が響きわたっていた。おもちゃや風鈴作り・和紙を染めてのうちわ作り、マスのつかみ取りなど、自然をさらに味わえるようなプログラムはどれも盛況。もちろん、大人むけの情報展示コーナーなども複数あった。少し離れた場所にある廃校の外にブルーシートをひいて瓦礫が飾られ、廃校の校舎の中には写真パネルやポスター、被災地からのメッセージなどが展示されていた。展示に関する細かい段取りは、『ちびくろ関東ネット』のメンバーたちが何日も前から準備を進めてくれた。

現地に到着して、主催者の方々の多忙ぶりを見聞きするうち、私の頭の中には不安がどんどん募っていった。今回、キャラバンへの依頼内容は、「全国から集う多くの有識人や心ある人々と混じって、シンポジウムもどきの連泊ジウムを行う予定です。3日間連続でふたを開けてみないとどんな展開になるのかはわからない。人々のまわりにある問題を一方的に否定するのではなく、前向きに気持ちのいい生き方を探る内容になればと思っています。ひとり一人がその答えを見つけていくような場になればいいのですが。被災地の方には、その中でも、特に“街をデザインする”というテーマに関して、積極的なアピールをお願いしたい。村井さんのお話を楽しみにしています」というものだったように思う。ところが、様々な人々の出入りの中、3日間の連泊ジウムのどの場面にアピールをすればいいのかというインフォメーションが頂けそうにない雰囲気なのだ。しかも、友人が主催者側にいるという状況などを配慮するあまり、間に入って場のコーディネートをすべき私自身が、どこか“待ちの体制”に終始してしまった。「せっかくお招き下さったのだから、お呼び頂けるまでお待ちする方がいいのでは？」という固定観念にとらわれて、「指示を出してほしい」と積極的にお願いする気持ちが萎えてしまったのかも知れない。とにかく、もう明日で最後という夜になっても、アピールの場の確認がとれずじまいの状態だった…。

つづく。

実は全国キャラバンに使っている1.5トンのトラックは長野県の滝沢牧場から頂いたもので、なんと頂いたときすでに10年間走ってきたという骨董品のなトラックでした（初年度登録1985年3月）。

昨年、12月にキャラバンがスタートしてまもなく、横浜から神戸へ向かう途中に走行距離10万kmをこえました（滝沢牧場のはなしでは、「実質30万Kmをこえたことになるでしょう」とのこと）。

全国キャラバンももうすぐ100回をむかえるのですが、このトラックは九州3回、四国1回、島根、鳥取、関東方面は10回程と、東北、北海道を除いてほとんど日本全国を走ってきて、現在、313,930kmを表示しています。ほんとによく走るトラックで、乗る度に愛着を感じ、また改めてよく走るものだと感じています。（ちなみにこのトラックはいすゞ。別に宣伝しているんじゃないですけど...）

100回目は絶対、滝沢牧場でガレキ展をやりたいなあと思っています。そしてその時、このお世話になったトラックをお返しし、記念として牧場に展示していただければ願っています。いすゞさんから新車のトラックなんか提供してくれるかも!？（甘いかなあ^^）

本当に滝沢牧場様、ありがとうございます。

P. S. (事務局より)

8月31日の午後は事務局はお休みします！

8月後半は大変忙しく、なんと事務局のスタッフ全員がぬけてしまいます。いろいろなキャラバンに顔を出していますので、会場でお会いできるかも…？

そこで申し訳ないのですが、緊急の場合は代表の村井くんの携帯におかけ下さい。

(030-160-3816)